

山行報告書

山行報告提出者：鈴木聖

山域・山名：西穂丸山(2,462m)		長野県松本市
入山日：2020年12月29-30日(火-水) 1泊2日 帰宅日：12月30日		
プラン担当者 正：鈴木 副：		
参加者	L：報：記：鈴木 今田 北田 男 3名、女 名、計3名	
天候	12月29日：晴れ時々強風 12月30日：雪 強風	
12月29日 (火)	集合時間：6：00 JR上尾駅東口セブン周辺(鈴木乗車) 6：15 北田さん宅そばファミマ上尾小敷谷店(北田さん乗車) 東松山ICより関越道、上信越道、長野道にて松本IC下車 新穂高温泉へ(駐車) ロープウェイにて西穂高口へ、12：30山行開始-13：50西穂山荘着、 テント設営 (行動：1h20m)	
12月30日 (水)	5：00起床-6：30西穂山荘発-7：00丸山-7：30西穂山荘テント撤収 8：40発-9：50西穂高口着、ロープウェイで新穂高まで下山、帰宅。 (行動：3h20m)	
荒天候時のエスケープルート：小屋泊に切り替えるか、山行中止し引き返す。		
装備と食糧	共同装備：ロープ8mm×30m(今田)、会ピーコン2台(鈴木が借用) 共同食：無し 車提供者：今田さん	
	個人装備：ソロテント一式、ストーブ(寒冷用ガス含)、クッカー、ヘッドランプ、防寒衣、コンパス、地図、替衣類、シュラフ、ヘルメット、エア(銀)マット、水、テルモス、帽子(目出帽)、ゴーグル、グローブ、スパッツ、ストック、ピッケル、アイゼン、わかん、ツェルト、スコップ、スノーソー、サブザック、懸垂用品(ハーネス、ATC、環ピナ2個、捨スリング120mm2本)、ゾンデ棒、雪用ポリ袋 個人食：食事×4 プラス予備食、行動食	
感想	予報での二日目の悪天が危惧されたが結構した。普段混雑しているロープウェイは外人客もまばら、西穂口からアイゼン装着し歩き出した。急登で息が切れたが西穂テント場に到着後、時間も早いので小屋の談話室で耐ハイ片手に山談義を繰り広げ夕暮れを迎えた。 翌朝、予報通りの積雪と強風だが、行けるところまで行こうと思いハーネス装着はせずに歩を進めた。途中、思いもよらぬ白装束の雷鳥雛2羽の出現に驚いたが、悪天の中、心が癒された。丸山に到着したが、風雪はさらに強くなったため、ここで下山しテント撤収し帰路に着いた。好条件が重ならないと西穂登頂は難しいと思うが、雪山シーズンの始まりに程よい疲労感を感じながら帰路に着いた。	